

様式1見直し項目(案)

下線付太字は入力条件の提案

2行目以降は付随するコメント

診調組 D-3-2

22.05.19

欄に網かけしてあるものは優先度が高いものとして提案されたもの

基本的考え方: 現行調査ですでに項目が設定されていること、及び院内情報システムですでに把握している情報であることの2条件を選択基準とした。

整理番号	項目	現状	項目の意義	コメント
1	患者住所地域の郵便番号	なし	全患者必須 地域ごとの疾病の分布、医療資源投入量がわかり、地域医療計画に役立つ分析や、疾患の疫学的分析にも極めて有用である。	研究班
5	退院先	3(11) 退院先(必須)	内容の追加(老健施設などへの入所と独居であるか否か) 医療機関へ入院する患者背景の傾向を知る上で、社会的背景である老健施設などへの入所の有無や、独居であるか否かが影響していることは臨床現場では明らかである。	研究班 MDC別検討班
6	手術後合併症の有無と合併症病名	なし	新規(入院時併存症、入院後発症病名と区別すべき) 同一疾患でも、術後合併症の有無、合併症病名により医療資源の投入量が異なる。 症例の主病名、併存疾患、重症度、進行度によって、その術後合併症発症率は変わり、その施設の診療機能の指標になる。	MDC別検討班: 入院後続発症における記載の徹底をマニュアルに記載(運用で対応)
7	術後創感染	なし	新規 術後創感染を併発した場合、入院期間の延長が認められ、医療資源も多く投入される。判定基準も確立しており、厚生労働省のサーベイランス項目となっている。	MDC別検討班: 入院後続発症における記載の徹底をマニュアルに記載(運用で対応)
9	身長、体重	なし	全患者必須 BMIが分かり、肥満と疾病リスクや医療費の関連が分析可能となる。体重当たりの薬剤投与量等が推計可能となる。	研究班 MDC別検討班
10	喫煙指数	非必須	全患者必須 喫煙と疾病リスクや医療費の関連が分析可能となる。	研究班 MDC別検討班
	入院時のADLスコア	非必須	全患者必須(入院時のみ、退院時は非必須) ADLの状況は各病院が治療している患者の「手間のかかり具合」を評価する情報として重要	
12	がんの初発、再発	非必須 (悪性腫瘍の場合のみ入)	手術・化学療法・放射線療法患者は必須 癌ステージ別の治療内容・早期アウトカムや医療費が分析可能となる。	研究班 MDC別検討班

整理番号	項目	現状	項目の意義	コメント
13	UICC病期分類(T,N,M)	非必須 (悪性腫瘍の場合のみ)	手術・化学療法・放射線療法患者は必須(初発患者のみ) 癌ステージ別の治療内容・早期アウトカムや医療費が分析可能となる。	研究班 MDC別検討班
15	入院時および退院時 modified Rankin Scale (mRS)	なし	MDC01は必須 脳神経疾患の診療において国際的にもよく利用されている。比較的簡便であり、妥当性・信頼性も実証されている。この指標を用いることにより、脳神経疾患の機能分類別の治療内容・早期アウトカムや医療費が分析可能となる。(入院時のみ必須、退院時は非必須)	研究班 MDC別検討班
16	脳卒中の発症時期	なし	010020-010070は必須 発症直後の急性期診療の入院か、その後の診療の入院かを区分する必要があるため。yyyymmddで入力、ただし不明は99999999で可	研究班 MDC別検討班
20	肺炎の重症度分類	なし	040070、040080は必須 左は最も簡便な重症度判定であり、妥当性・信頼性も実証されている。肺炎の重症度別の治療内容・早期アウトカムや医療費が分析可能となる。	研究班 MDC別検討班
22	入院時のKillip分類	050030,050040は入力(非必須)	050030,050040は必須 重症度別の治療内容・早期アウトカムや医療費が分析可能となる。	MDC別検討班
	入院時のNYHA分類		050130は必須 重症度別の治療内容・早期アウトカムや医療費が分析可能となる。	MDC別検討班
	入院時のCCS分類		050050は必須 重症度別の治療内容・早期アウトカムや医療費が分析可能となる。	MDC別検討班
24	急性肺炎の重症度分類	非必須	060350は必須 重症度別の治療内容・早期アウトカムや医療費が分析可能となる。	MDC別検討班
28	入院時併存精神疾患	なし	精神科分類の精緻化に役立つ	MDC別検討班: 入院時併存症・入院後続発症における記載の徹底をマニュアルに記載(運用で対応)
29	入院後発症精神疾患	なし	精神科分類の精緻化に役立つ	MDC別検討班: 入院時併存症・入院後続発症における記載の徹底をマニュアルに記載(運用で対応)
30	精神保健福祉法における入院形態	非必須 (精神病床入院がある場合のみ)	該当する入院の場合は必須 精神科分類の精緻化に役立つ	MDC別検討班
31	精神保健福祉法における入院形態・ 精神保健福祉法に基づく隔離日数・ 精神保健福祉法に基づく身体拘束日数	非必須 (精神病床入院がある場合のみ)	該当する入院の場合は必須 精神科分類の精緻化に役立つ	MDC別検討班